

# 月刊 社会保険 4

2019 VOL.825

一般社団法人  
全国社会保険協会連合会

介護で仕事を辞める前にご相談ください!

2019年度介護報酬改定について(概要)

介護保険をとりまく状況(概要)

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律案の概要

「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」のさらなる徹底・強化について

毎月勤労統計調査を巡る不適切な取扱いに係る事実関係と  
その評価等に関する追加報告書について(概要)

介護で仕事を辞める前にご相談ください!	4
2019年度介護報酬改定について(概要)	6
介護保険をとりまく状況(概要)	10
子ども・子育て支援法の一部を改正する法律案の概要	13
「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」のさらなる徹底・強化について	14
毎月勤労統計調査を巡る不適切な取扱いに係る事実関係とその評価等に関する追加報告書について(概要)	16
年金・健康保険委員活動報告 「社会保険委員」の役割	18
おぼろタオル株式会社代表取締役社長 加藤 勘次	
書評 君塚 直隆著『ヨーロッパ近代史』	20
持続可能な社会の扉を開けた人たち 第5回(後編) サステイナブル社会の要が「教育」にある。	21
株式会社教育新聞社代表取締役社長 齊藤 英行 株式会社朝日エル会長 岡山 慶子	
自分が変われば会社も変わる!? ビジネスチャンスを広げる行動変容 第12回(最終回) リスク	24
埼玉学園大学教授 古澤 照幸	
さまざまな視点から考える認知症 第12回(最終回) 高齢者の力で豊かな社会に	26
日本私立学校振興・共済事業団理事長/慶應義塾学事顧問 清家 篤	
認知症を予防する 第12回(最終回) 加工食品、亜鉛不足、運動不足と高血圧	28
お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36	28
特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土、/デザイン・STデザイン、(有)フェイム/編集協力・(株)アップルハウス/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことは——竹内敏信 「光の響」「樹の風景」

長野県駒ヶ根市



駒ヶ根市から撮影しているのでおそらく南アルプスであろう。  
ポツンと桜の木が美しく佇んでいた。樹自体はまだ細く若い。しかし、この桜の形は実に素晴らしい。桜のまわりも、ほとんど人の手が入っている感じはなく、どことなく古風な雰囲気を出している。  
私が撮影してから、長い年月が過ぎている。この桜はどうなっているだろう。変わらずあるのであれば、かなり立派になっているのであろう。  
ここは、そのことを確認しにもう1度足を運びたい場所でもある。

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

## 「社会保険委員」の役割



おぼろタオル株式会社代表取締役社長  
加藤 勤次

### ●事業所紹介

当社は1908年、日本画家の創業者森田庄三郎考案の「おぼろ染めタオル製造法」の特許を得て創業、「織・加工・縫製・仕上」の一貫製造工程を持つタオルメーカーです。

タオルの産地という「今治産地」と「泉州産地」が有名ですが、津市以北に点在した「三重産地」は日本の3大産地のひとつとされ、ピーク時には70社近くのメーカーがあり、「おぼろタオル」は生き残った数少ないメーカーとして創業時から「津市」で創業し現在に至っています。

この「おぼろ染め」とは、タオルを形成する縦糸・横糸・パイル糸のうち横糸だけに色をつけて柄にする技術で、パイルに隠れて柄柄が「おぼろげ」に見えることからこの名前をつけました。

この技法のタオルは、当初から「あいさつ」用や企業のPR用等に爆発的に使用され、現在でも関東の「年賀用タオル」によく使われています。控えめな図柄表現が日本人の感性にマッチしていたと感じています。

また、細番手綿糸を使用することで肌触りが優しくなり、軽くて吸水性も高い機能性に富んだ商品が持ち味です。「片面ガーゼ」の「ガーゼタ

オル」も1927年に当社が開発した商品で、現在も主力商品のひとつとして生産しています。

しかし、バブル崩壊以降、およそ20年は厳しい時代が長くつづき、事業継続に四苦八苦していました。その後、商品開発により活路を見いだそうと、2015年に「新おぼろ染め」（特許取得）による伊勢型紙とのコラボの「伊勢古式着物文様」が、2016年の伊勢志摩サミットで行われた首相夫人主催の「配偶者プログラム昼食会」で使用され、2016年度「三重グッドデザイン」（工芸部門）に選ばれました。

また、2017年には、ハイスベック（軽量・吸水速乾）の「おぼろ百年の極」特許出願を開発して現在の看板商品となっています。

### ●委員会活動の現状

三重県には5つの委員会があり、各委員会が工夫を凝らして、社会保険委員（年金委員）として、年金事務所と従業員とのパイプ役を基本として活動しています。

委員の方々は、事業所内で総務を担っているだけではなく、従業員の人生に深く関わる「年金」「健康」を中心にさまざまな事柄において、相談

頼関係が不可欠で、委員として正確な「知識」「情報」「経験」等が必要で

す。そのため各委員会は、委員のスキルアップを目的に、

① 年金事務所職員による年金に関する最新情報、制度改正等の講習会

② 総務担当の委員も多く、健康面の相談・アドバイスに向けての講習会

③ 事業所視察研修会を開催しています。

近年、マイナンバー等の個人情報扱の扱い、ストレスチェック対応等新たな課題や、各種ハラスメント対策も重くのしかかり、精神的負担も増大している現状があります。

私自身こうした委員が集まる各種講習会や研修会への参加を通じて解決の糸口を掴んだという経験もあり、活動（参加）の重要性を痛感しています。

### ●委員会の課題

課題は、なんといっても年金委員の減少です。

毎年11月に6県（富山・石川・岐阜・静岡・愛知・三重）で開催は持ちまわりで、今年は三重県で開催予定の

社会保険委員連合会会長が出席する

ブロック会議で現状報告があり、全県とも健康保険委員が増加している一方、職域型年金委員が減少している現状への対策が共通の課題だと認識しました。

委員数減少は、ネットワーク弱体化による組織力の低下だけではなく、連動する予算減少は委員会活動縮小を招き、大切なパイプ役としての役割が果たせなくなっています。

委員数減少の背景には、委員会活動はその専門性のため委員「個人」に依存する部分が多く、新任では荷が重い？ とその委員が退職したときに後任を選任してもらえない場合や「委員を出すメリットが感じられない」と事業主の理解が得られないケースもあると聞いています。

簡単ではないですが、各事業所に委員がいることで得られるメリットを検討・周知して、理解を求めるところが重要だと考えています。

### ●委員の必要性

私見ですが、中小企業の経営者として将来のビジョンを考えた場合、市場で評価される商品を開発・提案をおろそかにしたら、この厳しい競争の時代を生き抜けないことは明らかだと捉えています。

当然ですが、原動力になるのが従業員です。しかし、少子化が進む中で必要な人材を確保することは、中小企業にとってますます大変になってきています。

そのため会社は、「引きつけないか」を持ったなければならぬと考えるべきです。

人事・労務という側面から見ると労働条件向上の必要性はいうまでもありません。しかし給料等の直接的な労働条件では大企業に勝てません。そこであれば、当社の場合「強み」である離職の少なさを、厳しい時代

に雇用を守ってきたことによる従業員との信頼関係もあり、「長く働きやすい会社」を目指すことが近道であると進めています。

人事制度の改正、作業改善、環境整備等の実施が必要ですが、器（制度）をつくっても中身（運用）がなかったら機能しません。社内版フィナンシャルプランナーという表現が適当か



おぼろタオル株式会社

どうかわかりませんが、従業員のサポート役として側面から支えていく担当が必要で、その役割を担う者が社会保険委員だと考えています。

年金制度維持に不安を感じている人も多く、当社においても40歳未満（20名）の従業員は年金についてあまり関心を示さない現実があります。これは疑う余地はありません。そのためさまざまな機会を捉えて啓蒙していくことも大切な会社の役割だと認識して、委員会活動に参加しながらサポート力（強み）を会社が持つことも発展の一助になるのではと思っています。

（三重県社会保険委員会連合会会長 津社会保険委員会会長）



伊勢古式着物文様



おぼろ百年の極

相手としての役割を果たしながら委員活動を進めています。こうした役割を果たすためには、従業員との信